がんばろう！東北

記者発表資料

平成２８年５月１０日
東北地方整備局

建設コンサルタント業務の担い手を育成・確保
～若手技術者の受注機会拡大の試行業務を実施～

建設コンサルタントに所属する技術者の高齢化、配置技術者の固定化という課題や、平成26年6月に担い手確保・育成を目的の一つとして品確法が改正されたことを踏まえ、若手技術者の受注機会の拡大を図る試行業務を実施します。

○試行業務の内容

経験の少ない若手技術者の受注機会を拡大するため、成績・表彰の評価の代わりに予定技術者の年齢（４０歳以下）を評価項目とする。

○対象業務

建設コンサルタント業務等（土木関係建設コンサルタント業務、測量業務、地質調査業務）で、総合評価落札方式（簡易型）で発注する業務

・平成２８年度　対象業務　１９件
　土木関係建設コンサルタント業務　５件
　測量業務　１１件
　地質調査業務　３件
・平成２８年５月中旬以降入札公告を予定

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　　０２２－２２５－２１７１（代）

企画部 技術管理課長　　今野（こんの）　敬二（けいじ）　（内線3311）

技術管理課長補佐　大泉（おおいずみ）　隆是（たかゆき）　（内線3312）

若手技術者の受注機会拡大の試行概要

■ 背　景

成績・表彰実績が落札決定に対する影響が大きく企業の応札意欲の低下や、入札参加を躊躇するなどの実態を受け、改正品確法の主旨を踏まえ、担い手の中長期的な育成及び確保の観点から、若手技術者の登用を促進する必要がある。

■ 現状での問題・課題等

○受注企業及び技術者の集中と応札意欲の低下

→ 受注件数上位10者が、H26年度契約件数の35%を占める。

→ 一件当たり応札参加者数　H22：7．3者　→　H27：4．8者　　2．5者減

○建設コンサルタントに所属する技術者の高齢化と配置技術者の固定化

→ 平成26年度契約業務の管理技術者の平均年齢　48．6歳

→ 平均年齢36．8歳（H7）　→　平均45．3歳（H25）　8．5歳上昇

若手技術者の受注機会拡大の試行

- 経験の少ない若手技術者の受注機会を拡大するため、成績・表彰の評価を行わず、代わりに予定管理技術者の年齢（40歳以下）を評価する試行業務を実施。
- 試行業務は、簡易型（1：1）で発注する業務で十数件実施。

○評価ウェイトの設定

1）指名段階

評価項目		評価ウェイト
企業	資格・実績等	15%
	成績・表彰	30%
技術者	資格・実績等	20%
	表彰・成績	35%

⇒

評価項目	試行設定
資格・実績等	15%
成績・表彰	30%
資格・実績等	20%
年　齢	35%

2）入札段階

評　価　項　目		評価ウェイト
技術者	資格・実績等	25%
	成績・表彰	25%
技術提案等		50%

⇒

評価項目	試行設定
資格・実績等	25%
年　齢	25%
技術提案等	50%